



養殖マガキの大量へい死に伴う緊急支援に関する意見書

兵庫県たつの市の播磨灘に面した岩見漁業協同組合及び室津漁業協同組合において養殖されるマガキはクセやえぐみが少なく、熱を加えても縮みにくいのが特徴で、全国各地の家庭や飲食店等で消費されており、ふるさと納税返礼品としても実績件数が上位に上がるなど、マガキ養殖は当市の水産業の根幹となっている。

令和7年10月以降、瀬戸内海沿岸各地でカキのへい死が報道されているが、当市岩見漁業協同組合及び室津漁業協同組合の養殖マガキについても約9割がへい死するという事態に直面し、養殖マガキ事業者の生活基盤と地域経済を根底から揺るがす危機的状況が発生している。

また、海水温の上昇や栄養環境の変化などが指摘されながらも、未だ明確な原因が特定されておらず、多くの生産者が年内の売上激減と来期以降の生産体制維持に大きな不安を抱える緊急事態である。この危機に対し、早急なへい死原因の徹底究明と、生産者の事業継続を可能とする緊急支援策の実施が不可欠であると考え、下記の事項について支援策を求める。

記

- 1 養殖マガキ事業の継続に向けた、予算の確保及び激甚災害に準じた強力な財政面の支援を講じること。
- 2 海域の環境を調査し、養殖マガキの大量へい死被害の原因究明を行い、養殖マガキ事業者に周知すること。また、へい死被害の防止、養殖マガキ・種ガキの安定供給に向けた対策を講じること。
- 3 養殖マガキ事業従事者の雇用の継続や生活を維持できるよう、事業者と労働者（外国人技能実習生含む。）に対しての支援制度を構築すること。
- 4 誤った情報により風評被害が生じることのないよう、関係機関と連携し正確かつ迅速な情報発信を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

令和7年12月19日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
内閣官房長官
財務大臣
厚生労働大臣
農林水産大臣
経済産業大臣
環境大臣
兵庫県知事

殿

兵庫県たつの市議会議長 角田 勝